



福岡
県立

宗像高等学校

創立100周年記念事業

募金趣意書

あなたの支えが次の100年を創る
100th Anniversary
since 1919



校舎内 中庭

創立100周年記念事業実行委員会

創立100周年記念事業の成功に向けて

皆さま、ますますご清栄のこととお慶びいたします。平素は宗像高等学校並びに同窓会活動に対しまして、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

母校宗像高等学校は、大正8年(1919年)創立の宗像中学校、15年創立の宗像実業女学校を前身とし、戦後昭和23年の学制改革により新制高校として発足、その後男女共学校(全日制、定時制の普通科と家庭科、農業科)として体制が整備、拡充されました。来る平成31年には、旧制中学校創立から100周年の記念すべき年を迎えることになり、同窓生も3万4千名を越えるに至りました。折しも母校は県立の中高一貫教育校(県内で5校が選定)として福岡地区で唯一選ばれ、一昨年(平成27年)宗像中学校を併設・開校、今年の春には中学校第3期生が入学したことにより、中学生240名、高校生960名が集う学び舎になっています。

宗像高校同窓会では、これまで伊豆元会長のもと、母校の発展と後輩の健全な成長を願い、様々な活動や支援を行い、毎10周年には記念となる事業を実施しております。特に70周年では3階建ての「四塚会館」を建設寄贈し、同窓会事務業務のみならず、生徒の合宿、時間外補習、課外活動など幅広く活用され、同窓生の絆を示す自慢の施設となっています。

今回節目となる100周年を迎えるにあたっては、同窓会、PTA、学校職員が一丸となって、輝かしい創立100周年の記念行事ならびに記念事業を企画することとなりました。同窓会としては、学校当局と協議の上、人づくり教育(文武両道)のさらなる飛躍を目指し、体育、課外活動のための施設の拡充に寄与したいと考えております。

これらに要する費用は多額のものとなりますので、同窓会においては別途記念事業実行委員会を組織し、幅広く募金活動を展開することといたしました。100周年記念事業の成功に向けて、同窓生はもちろん、地域の方々、関係の方々の御賛同と御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



同窓会長
竹井 淳



現校長
古川 浩輝



平成29年8月 吉日
記念事業実行委員長 川島 照亮

同窓会活動

(年度活動)

- ・年報「宗像高校同窓会会報」発行…毎年1回
- ・奨学金制度…毎年度10名程度に贈呈
- ・教科外活動基金…生徒の課外活動費を支援
- ・教員、生徒の研修…研修費用を支援
- ・同窓生チャリティゴルフ大会義捐金…奨学金に充当
- ・支部総会、各回同窓会…本部役員出席、活動強化費補助
- ・「日本の次世代リーダー養成塾」参加…毎年1～2名の参加費支援

(周年事業)

- ・記念碑建立、記念誌発行…50、60、70、80、90周年
- ・70周年記念事業で同窓会館「四塚会館」建設



四塚会館

湯川山

孔大寺山

青春時代を見

創立100周年記念事業募金要領

宗像高等学校創立100周年記念事業を成功させるための、寄附金による募金を下記の要領で募ることにします。

募金の名称

福岡県立宗像高等学校創立100周年記念事業募金

(本募金は、福岡国税局から、国又は地方公共団体に対する寄附金に該当する旨の確認を受けています。)

目的

人づくり教育(文武両道)のさらなる飛躍

(自主性と協調性を育み、心身を鍛え、逞しく次世代をリードする生徒の育成を目指します。)

使途

部活動強化のため体育施設の充実(部室棟新設、グラウンド夜間照明設置)を図ります。この施設は建設竣工後福岡県に寄附されます。

募金目標額

1億2,000万円

募金金額

● 個人による寄附者の方 …………… 一口 5,000円

(母校発展・繁栄と生徒達の光栄ある未来のためご理解いただき、出来る限りたくさんの方々へ複数口の御寄附をお願い申し上げます。なお、本募金はふるさと納税等の税制上の優遇措置が利用出来ます。)

● 法人・団体による寄附者の方 …………… 一口の金額は定めておりません。

(寄附した金額は支出した事業年度の損金に算入出来ます。)

期間

平成29年9月～平成30年8月(1年間)

(期間前後でも受け承ります、事務局にご連絡ください。)

振込方法

● 同封のゆうちょ銀行の「払込取扱票」をご利用ください。

● 金融機関から振り込まれる場合は、福岡銀行の下記口座に送付ください。

銀行名・支店名：福岡銀行 宗像支店

口座番号：普通預金「1833130」

口座名：宗高100周年募金委員会「ムナコウヒャクシュウネンボキンイインカイ」

芳名記載

● 御寄附頂いた方々は、同窓会報に掲載させて頂きます。なお、5万円以上ご寄附頂いた方は、ご芳名を銘板に刻銘し末永く顕彰させて頂きます。

● 名前等公表を望まれない方は同窓会事務局までご連絡下さい。

優遇措置

優遇措置の利用については、同封の「ふるさと納税の利用について」をご参照ください。



一、千載揺がぬ四塚の峰
はるかに仰ぎて朝夕集ふ
われらが学友一千五百
真理の泉をかたみに汲みて
築くは平和と自治の精神
かかげし理想の光を見ずや

作詞 宗高国語科
作曲 信時 潔

四塚連峰

宗高から日本へ、そして 世界へ発信！



グラウンドから見た中学、高校校舎

1. 宗高の校訓

しつ じつ ごう けん じ きょう やま ず
「質実剛健 自彊不息」

飾ることなくまじめで、心が強くしっかりしていることと、理想を目指し、限りなく努力し続けることを意味している。

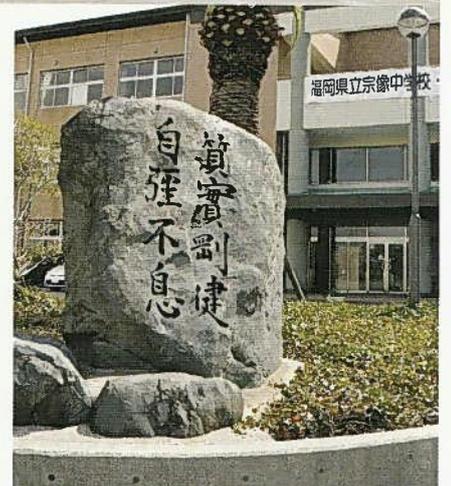
2. 宗高の精神

「たくましく、自ら励み、未来を拓く」

- ・文を尊び、体を練り、自ら精進する人材の育成
- ・自らの使命を自覚し、思いやりの心を持って社会に貢献する人物の育成
- ・郷土を深く愛し、文化と伝統を尊重する人物の育成

3. 宗高の特色

- ①歴史と伝統の誇り ②自学の精神 ③恵まれた教育環境
- ④文武両道 ⑤的確な進路指導 ⑥同窓生の絆



櫓の葉



平成27年4月中学校入学の第1期生(2クラス)

二、若草萌えたる釣川の岸
心のふるさと櫓の葉かげに
鳳雛宿りて友垣むすぶ
青春のほこりをわかつて共に
いざ撞切時代の暁の鐘
久遠の文化を導き往かん

釣川の岸

躍動する部活動

体育部

野球部
バスケットボール部
バレーボール部
サッカー部
ラグビー部
陸上競技部

テニス部
ソフトテニス部
剣道部
ハンドボール部

卓球部
弓道部
空手道部
山岳同好会
水泳同好会
総合運動文化部

文武両道!!

(部活動加入率 82%)

文化部

電気物理部
吹奏楽部
美術部
茶華道部
ホームメイキング部
放送同好会
地球惑星同好会



6度目の世界大会出場!

- ・26年ロボカップ世界大会(ブラジル)3位
- ・28年ロボットサッカー世界大会(ドイツ)3位
- ・29年ロボットサッカー世界大会(名古屋)出場

私たちのチーム「^{ツクヨミ}宗高月夜見」は、平成28年7月ドイツで開催された世界大会で個人7位、団体3位という成績を収めました。

前回の大会の反省を踏まえ、今年もより良い成績を残せるよう、頑張っていきたいと思います。

(電気物理部)

全校生徒による体育祭

発揮するリーダーシップ



夢に向かって

～釣川音頭～

～宗高体操～

100年の絆を喜び、未来を紡ぐ^{つむ}

昭和24年新制高校として発足した福岡県立宗像高等学校は、大正8年(1919年)創立の宗像中学校、大正15年創立の宗像実業女学校から継承し、平成31年には創立100周年の記念すべき年を迎えることになります。

母校の誇り、母校の強み

3万人を超える卒業生を輩出

地元や国内外で広く活躍する同窓生

伝統を引き継いだ県下有数の教育環境

中学校を併設した中高一貫教育

母校の沿革

中学校(旧制)

大正8年4月 福岡県立宗像中学校創立
大正14年4月 福岡県宗像中学校と改称
昭和5年10月 創立10周年記念式
昭和6年4月 公民科、作業科を設ける
昭和6年9月 財団法人福岡県宗像中学校後援会設立

女学校(旧制)

大正15年4月 福岡県宗像実業女学校創立
昭和4年5月 研究科併設
昭和5年3月 福岡県宗像高等実業女学校と改称
昭和6年4月 福岡県宗像高等女学校創立
昭和7年4月 公民科を設ける
昭和15年4月 専攻科併設

高等学校(新制)

昭和23年4月 福岡県立宗像高等学校創立
福岡県立宗像女子高等学校創立
昭和23年7月 定時制併設
昭和24年4月 農業科併設
昭和24年8月 男子高、女子高統合
福岡県立宗像高等学校創立
(全日制、定時制、普通科、農業科)
昭和25年4月 家庭科併設(昭和38年被服科に改称)
昭和34年11月 創立40周年記念式
昭和35年3月 定時制廃止
昭和40年3月 農業科廃止
昭和45年5月 創立50周年記念式、校舎全面改築落成式
昭和54年6月 創立60周年記念式
平成元年11月 創立70周年記念式、四塚会館建設
平成5年3月 被服科廃止
平成12年11月 創立80周年記念式、新体育館竣工
平成15年4月 (財)宗像高等学校後援会が発足し奨学金事業を開始
平成15年10月 校舎全面改築落成式
平成21年10月 創立90周年記念式
平成27年4月 福岡県立宗像中学校開校



1919年(大正8年)宗像中学校



1926年(大正15年)宗像実業女学校



1970年(昭和45年)宗像高等学校



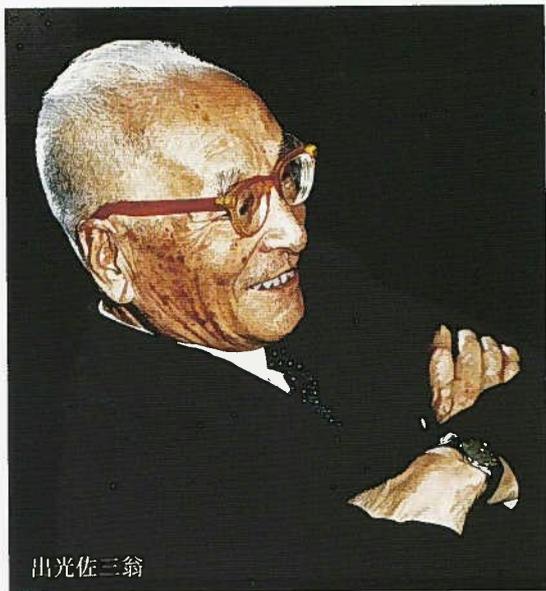
2016年(平成28年)宗像高等学校・宗像中学校

三、
新潮寄せ来る玄海の灘
岩うつ怒濤ぞわれらが力
百折不撓の意気高らかに
輝く希望を胸に抱きて
行途も正しき日に日に進む
光栄ある学徒の使命讃へん

宗像から世界遺産誕生!!

『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群

- ・ 玄界灘のただ中に浮かぶ沖ノ島では大陸との交流が活発化した4～9世紀の約500年間にわたり、航海の安全を祈る国家的祭祀が行われました。7世紀後半には、祭祀の場が大島や本土にも展開し、沖津宮(沖ノ島)、中津宮(大島)、辺津宮(田島)という海を介した広大な境内をもつ宗像大社が成立しました。これら三つの宮は、宗像三女神をまつる信仰の場として現在まで継承されています。
- ・ 沖ノ島は現在も島自体が信仰の対象であり、厳しい入島制限などの禁忌により、古代祭祀の変遷を確認できる考古遺跡がほぼ手付かずの状態です。
- ・ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、こうした信仰の文化的伝統が古代から現代まで発展し、また継承されてきた過程を物語る世界でも例をみない稀有な物証とされています。
- ・ 平成29年7月、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群はすべての構成資産を含めてユネスコの世界遺産に登録されることが決まりました。



出光佐三翁

宗像を思う深い心

この宗像から将来の日本を担う 若い人が育つのが一番の楽しみ

出光佐三翁は「出光」(出光興産)の創業者で、明治8年宗像郡赤間村に生を受け、油販売業から身を成し25歳にして「出光商会」を立ち上げ、戦後はゼロからの再出発であったが、持ち前の才気と大家族主義経営で日本有数の石油会社を創り上げられました。百田尚樹著の「海賊とよばれた男」のモデルにもなった傑人でもあります。

翁はふるさと宗像に深く愛着を持たれ、宗像大社の修復や福岡教育大学の誘致にご尽力され、また宗像人材の育成には格別の思いを持たれた方で、言うまでもなく我が宗像高校にも50周年、70周年に際し多大なるご協力をいただきました。「今の自分があるのは、宗像に生まれ育って、宗像大社のご神徳に浴したお陰である。宗像は昔から著名な教育者を多数輩出する教育郡であったが、私も尊い先生に教え育てられ人の尊さを知った。それで私の会社の在り方は人間尊重の精神が中心になった」といつも語られていました。

沖ノ島の奉獻品 (8万点全てが国宝)



金製指輪



まがたま
勾玉



こんどうせいりゅうとう
金銅製龍頭



さんかくぶちしんじゅうきょう
三角縁神獣鏡



沖津宮(沖ノ島)



中津宮(大島)



辺津宮(田島)

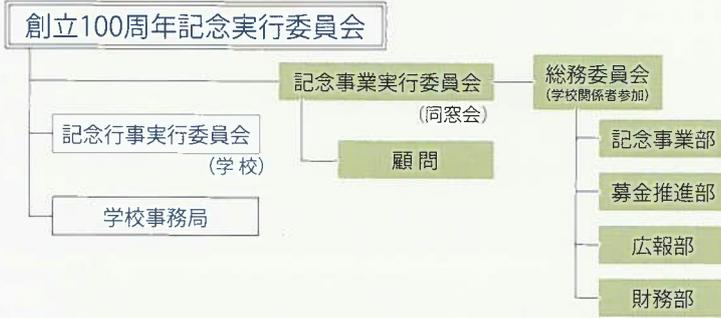


新原・奴山古墳群(津屋崎)

創立100周年記念事業実行委員会

宗像高等学校創立100周年記念実行委員会（会長：同窓会長、副会長：校長、PTA会長）のもと、同窓会としては事業を円滑に推進するため、下記の体制で記念事業実行委員会を組織しました。

組織・体制



記念事業実行委員長

川島 照亮 (昭和27年卒)
(前同窓会長)

顧問

麻生 和正 (昭和22年卒) 小室 宏孝 (昭和39年卒)
吉田 晃 (昭和26年卒) 橋本 浩 (昭和51年卒)
真武 邦彦 (昭和31年卒)

監事

花田 常樹 (昭和21年卒)
岩熊 徹 (昭和22年卒)
恒任 雅代 (昭和47年卒)

副実行委員長

下記の方を、副実行委員長として、部長ならびに部会委員に委嘱しました。(◎: 部長)

[記念事業部] ◎宮部 武文 (昭和41年卒)
白木 邦弘 (昭和46年卒)
*江口 友弘 (昭和42年卒)

[募金推進部] ◎水上 開 (昭和37年卒)
森山 邦子 (昭和39年卒)
三輪 朋之 (昭和41年卒)

[広報部] ◎池浦 順文 (昭和37年卒)
松本 美重子 (昭和36年卒)
林田 真基子 (昭和61年卒)
*占部 真砂子 (昭和30年卒)
*石松 豊幸 (昭和51年卒)

高向 正秀 (昭和43年卒)
林田 真基子 (昭和61年卒)
白石 隼人 (平成10年卒)
*川島 照亮 (昭和27年卒)
*竹井 淳 (昭和36年卒)
*吉永 克美 (昭和41年卒)

[財務部] ◎廣渡 孝代 (昭和42年卒)
谷口 一馬 (昭和43年卒)
吉田 静代 (昭和39年卒)
白石 隼人 (平成10年卒)
*立部 順子 (昭和37年卒)
*中森 展代 (昭和36年卒)

*: 新旧同窓会役員(会長、副会長)

実行委員

下記の多くの方々にも実行委員をお願いしました。

滝口 純 (昭和21年卒)
門司 昭徳 (昭和22年卒)
麻生 和正 (昭和22年卒)
永島 正信 (昭和26年卒)
綱脇 俊夫 (昭和26年卒)
清水 恵美子 (昭和26年卒)
中村 芳博 (昭和30年卒)
綱脇 牧子 (昭和30年卒)
◎高山 日出徳 (昭和32年卒)
前田 誠 (昭和33年卒)
花田 清隆 (昭和34年卒)
脇田 道子 (昭和34年卒)
水野 貞子 (昭和36年卒)
◎安部 八洲男 (昭和36年卒)
越智 大和 (昭和37年卒)

薄 善行 (昭和37年卒)
青谷 富彦 (昭和37年卒)
内藤 直徳 (昭和37年卒)
早川 和子 (昭和37年卒)
安部 高彦 (昭和39年卒)
森内 善昭 (昭和39年卒)
森田 妙子 (昭和39年卒)
西尾 昌子 (昭和40年卒)
森本 豊 (昭和40年卒)
麻生 敏興 (昭和41年卒)
中島 睦雄 (昭和41年卒)
高橋 三郎 (昭和41年卒)
◎和田 勝幸 (昭和41年卒)
長谷川 正憲 (昭和42年卒)
花田 時雄 (昭和42年卒)

◎森 誠 (昭和42年卒)
古瀬 保子 (昭和43年卒)
山田 敬二 (昭和43年卒)
乙藤 富雄 (昭和44年卒)
北城戸 勇次 (昭和44年卒)
佐々木 敏幸 (昭和45年卒)
廣渡 亮二 (昭和47年卒)
白木 健治 (昭和48年卒)
◎石松 豊幸 (昭和51年卒)
増井 久美子 (昭和51年卒)
三好 康之 (昭和52年卒)
高山 優徳 (昭和61年卒)
沖 祐一 (平成元年卒)
安部 有樹 (平成9年卒)
小澤 里美 (平成9年卒)

◎: 現各支部 支部長

未来を担う後輩達のために、皆様のご芳志(寄附)をお願い致します。

お問合せ

福岡県立 宗像高等学校同窓会事務局

〒811-3436 福岡県宗像市東郷6丁目7番1号 四塚会館内

TEL・FAX.0940-36-4422 <http://munakata.fku.ed.jp/> (同窓会)